

39.「命を守り、育てる。」

2011年9月1日 社会福祉法人 江刺保育園

私たち地球上に暮らす生物は、命の循環の中に組み入れられています。水の循環、空気の循環、生物の命の循環、それぞれがお互いを支えながら今の地球の自然環境が維持されています。命が生まれ新しい命が再生される循環の仕組みがありその中で私たちは生きています。命を育むこの仕組みが56億年の地球の時間のなかで作られました。

その生物系の循環の中で、自然のルールを守らないのが人間なのです。他の命を貪り自らの欲望の赴くままにこの地球上で生きています。他の生物から見れば人間ほど厄介な生き物はないとされていることでしょう。人間は水を汚し、自然を壊し、他の生き物の生活圏に侵入しています。山を削り、川をせき止め、その流れを変え、コンクリートで固めた都市を作りました。その中で人口が爆発的に増え自然界に存在しなかった有害な化学物質をばらまき、自然界の生物が地中に仕舞いこんだ炭素を掘り出し大量の二酸化炭素を大気中に放出しました。生物の命を守るオゾン層を破壊し太陽からの有害が紫外線や放射能を防ぐ仕組みを破壊しつつあります。そして原子力を使って放射能まで拡散してしまいました。

人間が自然界の中でなすべき本来の役割は何なのでしょう。それは自然の破壊者ではなく、自然を守る者として擁護者として生きることです。地を耕し、水を守り地上に多くの命を育て養う役割をするのが人間なのです。この働きがあって人間はこの地上で生きることが許されるのです。しかし、人は命を養うどころか多くの命を貪り、自然環境を破壊し続けています。自分の命をも自分自身で蝕んでいるのです。このままでは人間は地球上で生きることが出来なくなってしまうでしょう。そればかりか地球上のすべての命は失われ、命の存在しない荒涼とした廃墟の星になってしまうことは明らかです。子どもたちに、伝えなければなりません。人間だけの命が大切ではないということ。すべての命のバランスが地球上の自然の仕組みを支えていることを。温暖化による異常気象が毎年頻繁になってきています。人口爆発によって貧困格差がさらに拡大し、食糧が大幅に不足し飢餓にあえぐ人たちがさらに増えることでしょう。いまの自然生命サイクルを人は自らの手によって崩壊し続けています。私自信もその破壊者の一人になっていると思います。

ですから地球上で生きる者として何をしなければならぬのか真剣に考えなければなりません。私たちは自然の中から他の命を頂かなければ生きて行けない存在です。頂いた命を別な命として自然に帰してあげる働きをすることです。命を育てるのです。木でも草でも自然の中から失われた命を、新たな命の種として育てること、そしてこの地上で他の命が充分に生きることのできる環境の仕組みを修正し守ることが人間の役割なのだと思います。新しい時代の子どもたちにそのように生きることを伝えなければなりません。



コンニャクと挽肉のふりかけ

材料（4人分）

糸コンニャク 100g、豚ひき肉 50g、生姜(みじん切り)大さじ 1/2、ごま油小さじ 1/2、鰹節 5g、白ゴマ小さじ 2、調味料(砂糖小さじ 2、酢小さじ 1、みりん小さじ 2、醤油小さじ 2)

作り方

- ① 生姜、糸コンを細かく切ります。
- ② 鍋にごま油をひいて生姜を炒め、香が出たら豚ひき肉を加えて色が変わるまで炒めます。
- ③ 糸コンと調味料を入れ、汁気がなくなるまで煮詰めます。
- ④ 火を止め最後に鰹節と白ごまを良く混ぜて出来上がりです。ご飯のふりかけ、おにぎりの具や混ぜご飯にしても美味しいです。

